

まつぼっくり



学校教育目標「主体的に学び合い、達成の喜びを自信に変え、ふるさとを誇りに思う児童の育成」

よってたかって

よってたかって水泳指導

先週の放課後、希望した子どもたちが水泳の練習をしているプールに足を運びました。4年生以上の25人ぐらいの児童に、8人ぐらいの先生方がよってたかって関わり、クロールや平泳ぎ、息づきのポイントを一生懸命教えておられました。この放課後水泳教室で25m泳げなかった子が複数泳げるようになりました。本人の努力はもちろんですが、指導のプロである先生方が複数でよってたかって子どもたちに関わり、本気の指導をしてくださったからです。校長として職員のまとまりと協力に感謝せずにはおられません。



先生方、これからもいろいろな場面で職員同士協力しながら、子どもたちの成長のために、達成の喜びを自信に変えることのできる児童を育てていきましょう。ありがとうございました。

読書シール 白も赤もいっぱい

運動会ならぬ「ほんどうかい」

図書委員を中心に、運動会ならぬ「ほんどうかい」が実施されました。結果は白団の優勝！ 勝ち負けはいいとして、子どもたちは読み聞かせが好きです。本を読むことが好きな子がたくさんいます。でも逆に嫌いな子もいます。私は子どもの頃は嫌いでしたが今は好きです。布団に入ってから15分間ぐらいですが読書をしています。今は原田マハさんの作品を読んでいます。おもしろいです。



教育現場では「読み解く力」の必要性が叫ばれています。文章を読んで、何を言っているのか、何を伝えようとしているのか、何を問うているのか等を、正しく理解することです。そのためには、ひらがな・カタカナ・漢字を書くことはもちろん、一日数分でもいいので、教科書の音読することが効果的だと思います。また、読書を好きになり継続することでしょう。

読み解く力は、国語だけでなくすべての教科や人とのコミュニケーションには、絶対必要なことです。今回の「ほんどうかい」を通して、読書の楽しさを感じた子が増えたことでしょう。

斉藤万芳さんの講話

ふるさと学習

7月6日(月)、5年生は総合的な学習の時間での世界遺産となっている三角西港に行き、浦島屋の中で本校の学校運営協議会委員長の斉藤さんの詳しい説明を聞かせていただきました。三角西港が果たしてきた役割、万田抗とともに世界遺産になったいきさつ、斉藤さん自身の生い立ちなど、5年生の子どもたちにとって知らなかった事実を知ることができる貴重な時間となりました。ぜひ今回のことを活かして、主体的に学び合い、ふるさと三角を誇りに思う児童に成長して欲しいと思います。期待しています。



斉藤さん、公私ともに忙しい中、本当にありがとうございました。